

後処理剤の品揃え大幅拡充

JX金属商事は、表面処理事業のさらなる強化を図っている。親会社であるJX金属の磯原工場

で手がけていたコネクター向けを中心とする金メッキ封孔処理剤や銅メッキ変色防止剤などといった後

処理剤の生産をJX金属商事の高槻工場（大阪府高槻市）に昨秋移管。磯原工場

で生産していた後処理剤のブランド製品もJX金属商事の製品として販売する。これによっ

てラインアップが大幅に拡充されるほか、グループ全体としての生産効率向上につなげる方針。

同社の表面処理事業は、半導体リードフレームやプリント基板、工業用・装飾用などの各種メッキ液・プロセスを手が

ける。生産拠点として高槻工場を有し、商社機能とメーカー機能を併せ持つ一貫体制を生かしたビジネスを推進している。

主要顧客である電子部品関連では、基板の微細

化に対応した基板用メッキプロセスの提案を積極化。MEMS（微小電気

機械システム）関連では、高度な顧客ニーズに応じた独自のロジウムメッキ

液など優れた特性を持つ製品の拡販を進めている。

一方、これまで磯原工場

で手がけていたコネクター向け金メッキ封孔処

理剤や銅メッキ変色防止剤などをはじめ、プリン

ト基板向け金・ニッケルメッキ封孔処理剤などの

生産を同社の高槻工場に

移管。これにともない製造設備や検査装置などを

高槻工場に導入。現在、同

工場

で生産している半導体

リードフレーム向け銅変色・酸化膜剥離防止剤

や無電解ニッケルメッキ液などに加え、ラインア

ップが大幅に拡充された。

海外展開にも力を入れ

ており、中国の上海・深

圳、タイ、台湾、マレー

シア、ベトナムに持つ現

地法人などのローカルサ

タッフをさらに充実させ、

拡販に弾みをつける。